

2chステレオの臨場感拡大



大学院理工学研究部(工学)
教授 安藤 彰男

研究分野

Research area

総合領域／情報学／知覚情報処理

研究のキーワード > 音響情報処理, 信号処理, 音響工学

研究内容

Research content

ステレオ録音されたオーディオ信号を、チャンネル間相関の高い成分(以下、相関成分と呼ぶ)と残差成分に分離する手法を開発した。相関成分を本来の前方スピーカ、残差成分を5.1チャンネルなどの後方スピーカから再生することにより、本来の音像定位を保ちながら、臨場感の高い再生を実現できる。

研究のポイント

Research point

- オーディオ信号を、人間の聴覚を模したフィルタで帯域分割し、各帯域ごとに、相関の高い成分を抽出。
- 5.1チャンネルシステムでステレオ音源を再生する場合に効果的な手法。
- 残差成分は、5.1チャンネルのリアスピーカの位置に限らず、ステレオスピーカの外側に設置したスピーカで再生すれば、臨場感の向上に寄与する。

産学連携への取組、期待

- CDの音源を御持ち頂ければ、いつでもデモ可能です。まずは、その効果をお聴きください。
- 現在、特許出願を検討中。
- アップミックスにも利用できるため、マルチチャンネルオーディオのコンテンツ制作にも活用可能。

研究 REPORT

ステレオ録音

